

編集後記

本号は、行政特集と言うことで、これまでに上げられた内容とは、かなり系統が変わっているかと思いますが、本誌を通じて、行政の取組みに対する読者の理解が深まり、建設機械が更に発展することを願っております。

さて、去る3月26日に平成16年度予算が無事、成立しましたが、厳しい財政事情の中、景気回復に向けた効率的な予算の執行が求められており、特に、公共事業の執行には、社会資本重点整備計画の着実な推進が必要です。この社会資本整備重点計画は、社会資本整備事業を重点的、効果的かつ効率的に実施することにより、国際競争力の強化等による経済社会の活力の向上及び持続的発展、豊かな国民生活の実現及びその安全の確保、環境の保全（良好な環境の創出を含む）並びに自立的で個性豊かな地域社会の形成が図られるべきことを基本理念として、平成15年10月に策定されたものです。

建設機械は、こうした社会資本の整備を、安全で確実に行うために不可欠のもので、今後、益々、その役割が重要になってきます。そういう意味では、建設機械に関わる様々な情報を、スピーディーに、そしてタイムリーに提供する本誌は、きっと、

公共事業に携わる人々にとっての“バイブル”となるはずですが、皆様の周りで、「建設の機械化」誌をご存知ない方がおられたら、是非、この機会にお知らせ頂ければ幸いです。

ところで、春になると「花粉症」で悩まされる方も多いと思いますが、この花粉症の起源は、19世紀はじめのヨーロッパだと言われています。昔から干し草を扱っている人に、鼻水が出たり、眼が充血、時には喘息の症状を起こすことが知られていて、その原因が花粉であることがわかり、それ以来、この病気が花粉症と呼ばれるようになったようです。日本では、一世紀遅れた1960年代初頭、高度経済成長の真っ只中、当時盛んに植林されていたスギの花粉による初の症例が報告され、以来、生活水準の向上と都市化の進展とともに「花粉症」が爆発的に広まっていったようです。

今年の春は、昨年の冷夏の影響で花粉の量は少ないようで、例年、マスク常用を余儀なくされている某編集委員も、今年はほとんど症状が出ず、自分が健康になったのかと錯覚してしまうような状況です。できれば、今年の夏も、冷夏であって欲しいと願う今日この頃です。

取りとめのない内容になりましたが、ご多忙中、ご執筆を頂いた方々に深く御礼申し上げます。

(星隈・西園・小幡・伊藤)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
両角 常美	渡邊 和夫

編集委員長

佐野 正道

編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源機構
吉村 豊	電源開発
西田 光行	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
有光 秀雄	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
山口喜久一郎	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
内田 克巳	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
宮木 克己	日立建機
庄中 憲	施工技術総合研究所

5月号予告

- ・建設リサイクルに関する最近の技術開発
- ・建設発生土等の有効利用に関する仕組み
- ・オンサイトにおける骨材再生プラントの適用
- ・路上路盤再生工法の効率的施工に向けた新たな取組み
- ・古紙を混ぜて建設汚泥をリサイクル—繊維質固化処理土の強度特性と施工事例—
- ・流動化処理工法による農業用水パイプラインの管体基礎工の施工—
- ・条件の嫌気性菌による植物発生材の推肥工—悪臭の発生しない推肥化—
- ・平成15年度社団法人日本建設機械化協会事業活動

No.650 「建設の機械化」

2004年4月号

(定価) 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成16年4月20日印刷

平成16年4月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380